

宮若STM石灰 株式会社

〒822-0132 福岡県宮若市小伏1733-1
TEL 0949-52-3380業 種 窯業・土石製品製造業
従業員数 8名
資 本 金 600万円

事業内容

九州有数の石灰関連資源リサイクル事業+農業肥料・バイオマス事業

2018年に創業。使用後廃棄される乾燥剤が高純度石灰であることに着目。回収した乾燥剤に消石灰を加え農業用土壌改良材として販売。また、鶏ふんを回収、加工し有機肥料として国内やベトナムに出荷。九電みらいエナジー株式会社が進める「バイオマス発電所焼却灰有効活用プロジェクト」メンバー。産学官で事業化を推進中。



改善成果のポイント

訪問支援回数 | 20回 (支援期間: 16カ月)

- 作業環境改善 (3S・粉塵対策、安全対策)
- 工程改善 (作業スペース改善、新設備導入による省人化)
- 意識改革 (組織化、権限委譲、人材育成)



Q どんな困りごと(課題)がありましたか？

石灰リサイクル工場では、乾燥剤の小袋を破碎して石灰を取り出し、粉碎・加工して土壌改良材にリサイクルしています。広い工場内に雑然とものを置いており、どこからどのように整理整頓すればいいかわからない状態でした。また、石灰の粉塵が浮遊し、視界が霞むほどで、更に高所や吊り物の下での危険を伴う作業、産業車両との接触の恐れなど、安全や健康へのリスクの高い作業環境でした。

また、生産計画や生産管理をしっかり行っていない、トップである私とスタッフとの情報共有も不十分であったため、スタッフはトップの指示に従って動くだけで受け身の姿勢になりがちでした。

このように働く環境がきちんと整っていないため、スタッフのモチベーションが上がらずに定着率が悪いことが一番の課題だと捉えていましたが、どこからどう手をつけていいかわからない状態でした。

課題 ① ② ⑤



工場内にはものが雑然と置かれていた



吊り物による作業は重労働で危険だった

Q 改善の取組み内容を教えてください

現状を分析した上で、作業環境改善、工程改善、意識改革の3つの軸で取組みました。

作業環境改善では、工具や材料、製品を仕分けして整理整頓、大気中に舞う石灰粉塵対策に集塵機を活用、安全対策のため歩車分離の表示とルール決め、清掃を習慣化するためチェックリストを作成して毎日確認することとしました。また、定期的にスタッフが集まってQCサークル(座談会)を行い、3Sや安全について話し合い、コミュニケーションを深め、自発的に改善を進めやすい風土習慣作りに努めました。

工程改善では、高所作業で吊り物を使い負担が大きかった粉碎工程に新設備を導入し、高所作業、吊り物の下での作業を廃止しました。また、材料と製品、工具の置場を規定して、作業の効率化を図りました。

意識改革では、上記QCサークルに加え、トップとスタッフで生産計画や情報を共有し、役割分担を明確にして、スキルアップを目指せるようにしました。



整理整頓と清掃により動きやすい環境に



新しく導入した乾燥剤破碎処理機

Q 取組んで良くなった点を教えてください

作業環境改善を行ったことで、ものを探したり遠回りする手間がなくなり、クリーンで安全な環境のもとで気持ちよく働けるようになりました。

工程改善で導入した新設備は、材料を投入すれば自動で乾燥剤を破碎処理します。危険だった高所作業や吊り物の下の作業がなくなり、スタッフに大変喜んでいただきました。また、つきっきりで作業する必要もなくなり、スイッチを押したら別の作業ができるようになりました。

意識改革としてトップとスタッフで情報共有を行い、スタッフそれぞれの役割を明確化し、これまでトップが担っていた製造長としての権限を他のスタッフに委譲しました。そのためトップが現場で指示をしなくてもその目的やお客様を意識した仕事をしてもらえるようになりました。

これらの取組みによって生産性が上がり、スタッフが定着するようになりました。

仕事の効率化とスタッフの意識向上によって、総労働時間が減りました。その分は賞与としてスタッフに還元しています。

余力を生かし、バイオマス関連のプロジェクトをはじめ、新規事業にも力を入れていきたいです。



安全対策として歩車分離のラインを引いた



生産計画と日報、チェックリストで状況を確認

メインの
効果
(改善点)

副次効果

今後の目標

企業様の声

会社を継続し発展させるためには、スタッフ一人ひとりの力が重要です。スタッフが定着し成長できるように職場を改善したいと思っていましたが、何から手をつけたいかわからなくて困っていましたが、今回の取組みによって現状を大きく見直すことができ、多方面にわたる改善が実現し、皆が笑顔になりました。

アドバイザーの堤さんには細かい質問にも丁寧に答えて頂き、心強く感じました。

宮若STM石灰 株式会社
技術部長
舌間 常雄 様

生産性アドバイザーから一言

資源のリサイクルという社会的意義の大きい事業を展開している会社ですが、現場の環境には改善できるところが多々ありました。支援によって現場の環境と生産性が向上し、スタッフの皆さんに喜んで頂き、更に、舌間さんが新事業の展開に注力できるようになったことは何よりです。

生産性アドバイザー
堤 恒弘